

学校だより

5月号



重点目標 みんなでいっぱい



他者から学ぶ



新緑がまぶしい季節となりました。

新学期の準備、新しい登校班の見守り、個別面談等、ありがとうございます。

子どもたちは新学年を迎えて、張り切っているところです。朝のスタートが気持ちよいと、良い一日になりそうですね。

ここで、登校班の班長を担っている、6年生に、朝の登校でどのようなことに気を付けているのかを聞いてみました。

「列の間をあけすぎないようにしています。小さな子たちの歩くスピードに合わせてつつ、また、いつも8時頃学校に着くように、調節しながら歩いています。」

「列から大きくはみ出している子がいたら声を掛けます。」

「家から学校までが遠いので、黙って歩くことにあきてしまうこともあります。車が通らない道では、しりとりのように楽しく声をかけることもあります。」

「集合場所では、登校班のメンバーのお家の方々と、フレンドリーに話し、コミュニケーションをとっています。」

「登校班のメンバーの名前は、しっかり覚えています。」

「おはようございます」と挨拶をする上級生にならって、すぐ後ろを歩く1年生も、しっかり挨拶をするようになってきています。上級生は、良いお手本となっています。

さて、今年度も引き続き、学校の重点目標は「みんなでいっぱい」であることを、4月号でお伝えしたところです。

先日、1年生を迎える歓迎の会を全校で体育館に集まって開いたところですが、上級生が日常的に1年生のお手伝いに入っています。5年生は、給食の片づけ、6年生は朝の準備と掃除をしています。

これらの活動も「みんなでいっぱい」に通じると思います。1年生は学校生活が円滑に進めることができるようになっていきます。学校では、いろいろな出来事がありますが、そこを乗り越えていく柔軟性や強さ、困難を解決できる方法を身に付けていけるよう、見守っていきます。保護者の皆様も、ご協力お願いいたします。

